

## 第三者割当増資による資金調達を行いました

アクチュアライズ株式会社（京都府；代表取締役社長 杉岡郁）は、2019年6月～9月の期間に合計約4.7億円を、創薬維新投資事業有限責任組合（無限責任組合員 株式会社ウィズ・パートナーズ）、三菱UFJライフサイエンス2号投資事業有限責任組合（無限責任組合員 三菱UFJキャピタル株式会社）、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）、京銀輝く未来応援ファンド2号投資事業有限責任組合（無限責任組合員 京銀リース・キャピタル株式会社）を引受先とする第三者増資により調達いたしました。

当社はフックス角膜内皮ジストロフィー（FECD）の治療法を開発する同志社大学発のベンチャー企業で、角膜内皮細胞の再生医療およびFECDの進行抑制～治療が期待される点眼医薬品の開発を進めています。今回調達した資金によりこれらの研究開発を進め、第一の目標としては角膜内皮再生医療を安定した品質かつ患者様に届け易い製剤形態で早期事業化することを目指します。

FECDは現状では角膜移植しか治療法がなく、また比較的早期に病気が分かっただとしても進行をおさえる方法がない難治疾患です。特に欧米では遺伝学的理由から人口の約4%が発症し強く解決が望まれています。

当社は同志社大学の小泉範子教授、奥村直毅准教授らの研究成果をもとに角膜内皮再生医療と点眼医薬品の開発にチャレンジしており、それに対し、新たな医療技術創出に戦略的なファンドの仕組みで臨んでいるウィズ・パートナーズ、ライフサイエンス分野投資を重点化している三菱 UFJ キャピタル株式会社、過去に支援した優れたシーズの実用化を目指すベンチャー企業に出資する国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）、また京都府内の大学発ベンチャーということで府下の創業や事業拡大を支援する株式会社京都銀行の賛同を得て、今回の資金調達を実施いたしました。

FECD および角膜内皮再生医療などのプロジェクトについては、当社ホームページをご覧ください。